

* Welcome to

がん化学療法看護認定看護師
教育課程



首都大学東京

*先生の紹介

主任教員

三浦 里織先生

(がん看護専門看護師)



専任教員

新井 敏子先生

(がん看護専門看護師)

* その他、非常勤講師として、様々な病院の医師や専門看護師、認定看護師が講義します。

* 本課程の
1年間の流れ

*いよいよ7か月間の研修の始まりです。

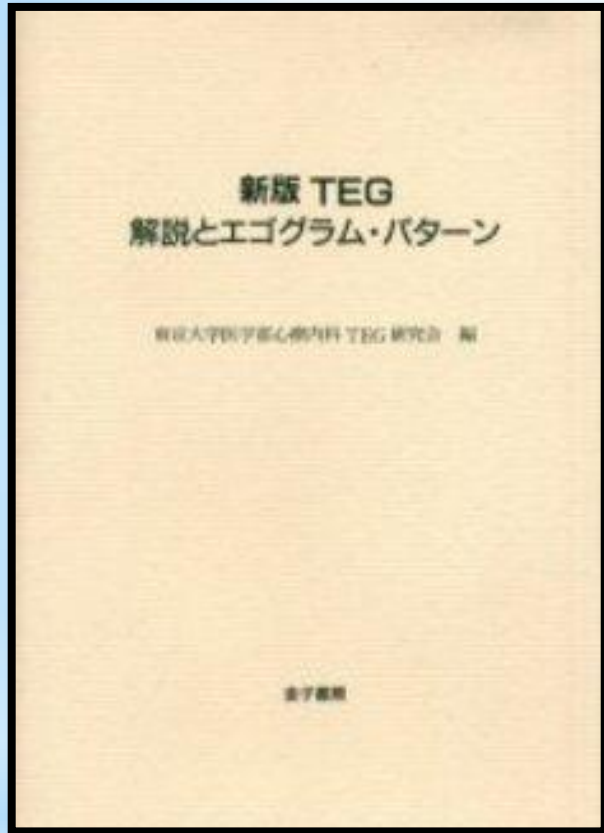
*これからどのような半年間がくるのか、楽しみでもあり、不安でもある皆さん。

*研修生同士、お互いに刺激し合い、支え合い、楽しく、勉学に励んで欲しいと教員の先生方は陰ながら思っています。

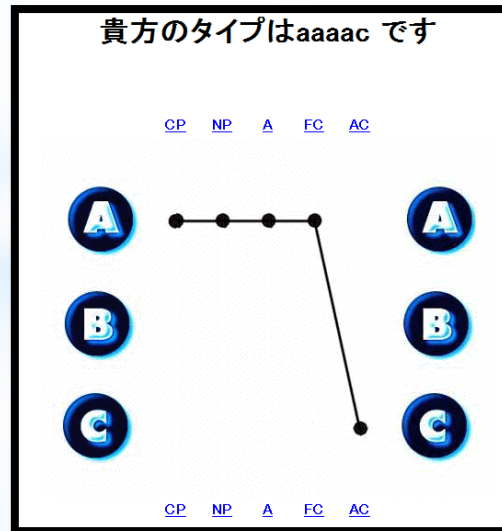


*開講式

～共通科目～



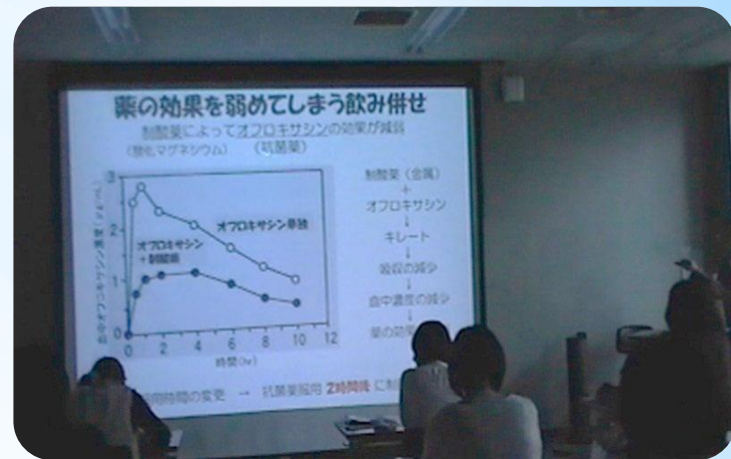
- * 開講式の翌日から講義は始まります。
- * 共通科目では、本学の看護学科の先生方が講義します。
- * 精神看護学領域の山村先生の講義では、医療者間、患者間などにおける対人関係について、皆さんの体験談をもとに「客観的に」考えます。
- * 下図は、エゴグラムの結果の一例です。このように自分の性格診断をして、「自分」を知る良い機会にもなります。



* 対人関係

～専門基礎科目～

- * 10月から始まります。
- * ここから外部講師の先生による専門的な講義が徐々に増えます。
- * この日は、加藤先生による「代謝」についての講義を受けました。「薬理」と聞くと、苦手意識を抱えがちですが、加藤先生が事例や図を用いて、わかりやすく講義をして下さいます。難しいと思っていた薬理もわかると好きになるかも!?



* 臨床薬理とその活用方法

～専門科目～



* 11月から始まります。

* 難しい内容の講義が多々ありますが、皆さん、熱心に勉強しています。

* この日は、乳がん患者さんのリンパ浮腫について。実際に、新井先生がバンテージを腕に巻き、どのように圧迫するかを再現しています。

* がん化学療法に伴う
身体の変化と症状緩和技術



* 専門科目では、演習やグループワークを沢山行います。

* この日は、実際に防護具を身につけ、曝露しないように抗がん剤を扱いました。実際に行ってみると、難しかったです。

* がん化学療法薬投与管理と
リスクマネジメント

～総合演習～

- * 下記の学会のうち、1つに参加し、がん看護に関する最新のトピックスを得る方法を知ります。そして、今後の看護援助に活かすことが出来ることを目標としています。
- * 難しそうに聞こえますが、どの学会も興味深い演題が多々あります。
- * 日本サイコオンコロジー学会
- * 日本癌治療学会
- * 日本看護科学学会
- * 日本がん看護学学会



* 学会への参加



* 2つのグループに分かれ、輪になってお話をします。

* その日によって、トピックスは異なりますが、相手の「気持ち」を知る機会、そして「自分」を知るきっかけでもあります。

* 特に、不安に思っている事は、意外と皆さん同じです。

* サポニトグループ

首都大学東京 健康福祉学部看護学科
看護実践研究・研修センター
認定看護師教育課程 がん化学療法看護分野

臨地実習Ⅱ 計画書

* 実習計画書を1から作り上げます。

* 皆さん、頭を悩ます時期もありますが、先生方のご指導を受けつつ、実りのある実習につなげるために頑張っています。

* 臨地実習



* 実習中に学んだことは、
十人十色。

* 実習報告会では、それぞれの
学びを共有します。

* 先生や実習指導者の方々
からもコメントを頂きます。

* この日は、皆さん、スーツを
着るので、緊張感が漂いま
す。

* 実習報告会

*いよいよ修了試験！

*皆さん、

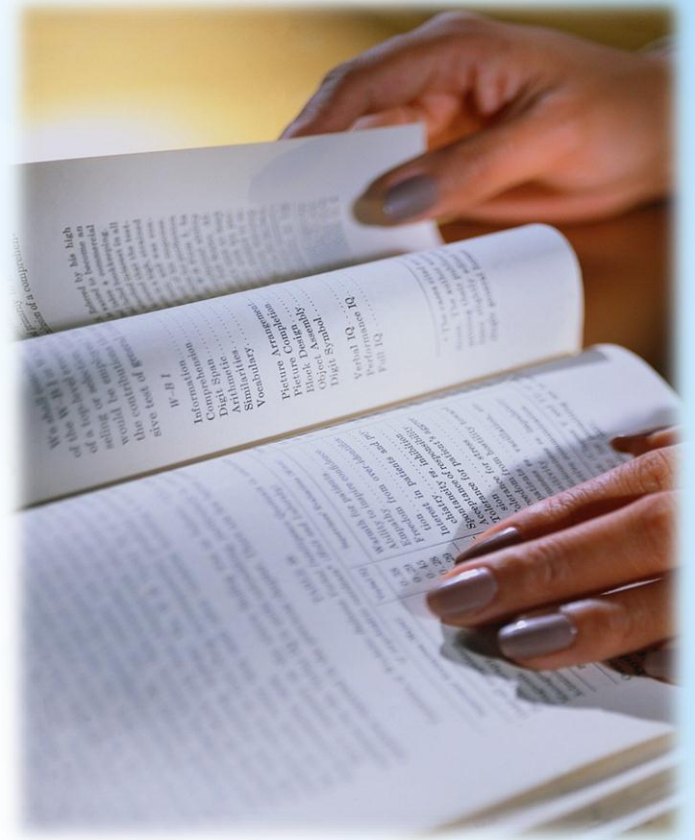
講義や演習、

そして

実習で学んできたこと

を復習し、

修了試験に挑みます。



*修了試験

長いようで、短い7か月間。
短いようで、長い7か月間。

第1期生

時に笑い、
時に泣き、
勉強も沢山、
悩みも沢山。

この日の皆さんは、
いつも以上に
素敵な表情をされます。

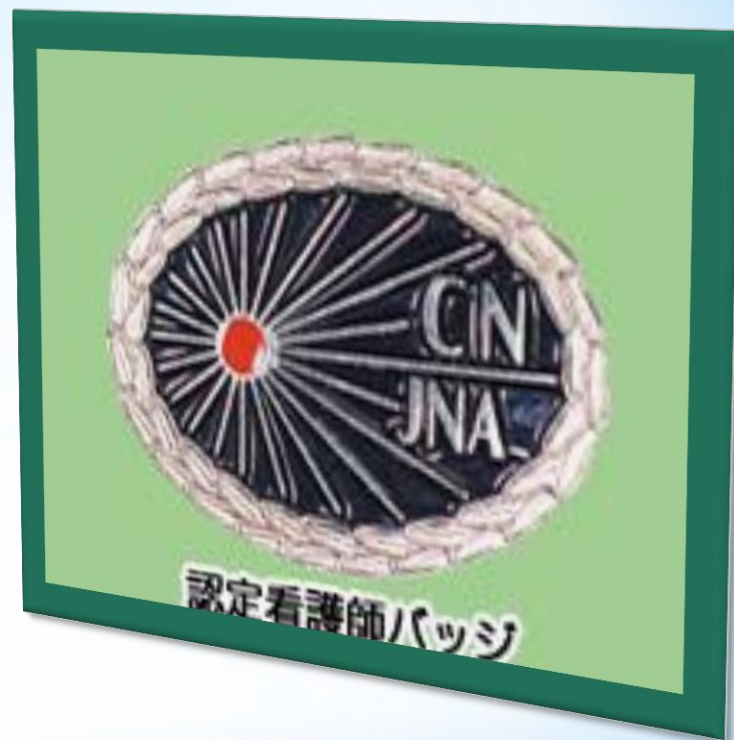


* 修了式

修了式が終わると、
今度は認定審査があります。

研修は終わったので、皆さんの
大半は、所属病院に戻ります。
働きながら、試験勉強をするの
で、大変だとは思いますが、頑
張りどころです。

認定審査に合格して、
がん化学療法看護認定看護師
として、これからのご活躍を期
待しています。



*認定審査 (5月)

* Thank you
for your attention

THE END